

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

(地域の現状)

令和5年度より3連合地区（保土ヶ谷地区・保土ヶ谷中地区・保土ヶ谷東部地区）に担当が変更となりました。担当地区は国道1号線を含み両斜面に位置するため、必然的に坂や階段が多い地域となっております。また、コロナ禍の影響もあり地域の活動団体の減少も見られます。それぞれの地区で課題等はありませんが、高齢化率の上昇に伴い、今まで以上に地域の実情を見据えた支援が必要とされています。

(今後の方向性)

地域福祉保健計画の地区別計画の推進や地域との顔の見える関係づくりの推進、関係機関との連携強化を図っていく必要があります。地域福祉の推進において重要な役割を果たしている地域住民を主体とした話し合いの場やグループ活動等が、地域の中に広がるよう支援し、子育て・障害者・高齢者等を地域で支えるコミュニティ及びネットワークの構築を推進します。

今年度の重点的な取組

新規	継続
----	----

—具体的な取組内容—

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	日常業務や6職種会議、包括カンファレンス及び地区支援チーム会議等で今までの取組を共有していきます。また地区別計画を意識しながら、地域に実際に赴き地域とのかかわりを図っていきます。さらに地区別計画推進の場において、多くの人の意見を聞きながら、地域課題の解決にむけて協働し取り組んでいきます。
--------------------------	-------------------------------------	--

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	個別課題から分析検討を行い、地域課題を明確化します。更に地区支援チームで共通の認識を持ち、地域を交えての課題解決に向けて、地域ケア会議や協議体を実施していきます。
--------------------------	-------------------------------------	---

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の状況や地域福祉保健計画の地区別計画を照らし合せ、地域のニーズを検証しながら、地域ケアプラザの場を活かした自主事業を実施していきます。また、必要に応じて地域に出向き地域住民と協働で事業を実施します。
--------------------------	-------------------------------------	---

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	認知症交流会を実施し、民生委員等の地域住民や介護事業所等と連携し、安心して過ごせるまちづくりについて、検討していきます。
--------------------------	-------------------------------------	--

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	個別課題や地域課題の解決に向けてのネットワークを構築するために、各々が持っている情報の共有を図り、協議体を結成し継続することに取り組みます。また、新しい職員もふくめ、地域の皆様に顔を覚えていただけるよう、地域に出向く機会を増やしていきます。
--------------------------	-------------------------------------	--

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

今年度から担当エリアが縮小し、合わせて職員の入れ替わりもありました。地域の皆様に顔を覚えていただくと共に、私たちも改めて地域の皆様方と話す機会がふえ、地域の状況を学ぶことができました。地図を活用し、区役所・区社協と共有し地域を俯瞰してみることができました。ほっとなまちづくりを通して見える地域の特徴を職員間で共有し、介護予防事業に反映することもできました。個別課題から、地域のネットワークや事業所や関係機関の連携をおこない、短中期的な課題を解決してきました。地域アセスメント、認知症交流会、ケアマネ連絡会などを通じ、独居、認知症、精神等などの障害のある世帯に対し個別課題が多くあることから地域課題としてとらえることができました。合わせて、介護予防に対して地域の関心が高いこともわかりました。自主事業やケアプラザを拠点にした取組みに関しては充分ではなかったため、今年度の振り返りを踏まえ、次年度の事業計画を検討していきます。

区からのコメント

今年度は、包括圏域の変更や職員の入れ替えもあったことから、地域の会議やサロン活動への顔出しを積極的行う等、力を入れてられました。それにより、地域の方との関係性をつないだり、地域のアセスメントができるように地域の状況把握を進めることが少しずつ進められてきています。

そして、個別課題の分析を行った結果、地域のニーズを上手くみ取ることができ、介護予防の関心が高いことが分かり新たに健康教室を立ち上げることも繋げることができています。

自主事業やケアプラザを拠点にした取組みに関しては、立地上、ケアプラザに来ることが難しいエリアの方もいると思いますが、個別課題や地域課題から見えてくるニーズ調査を引き続き行って頂いたうえで、来年度以降の事業に反映して頂ければと思います。

令和5年度横浜市岩崎地域ケアプラザ事業報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>利用者、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が公正・中立でなければならないことを理解している。 ・個別支援にあたり、サービスが特定事業者に限らないように配慮します。 ・利用者本人、家族の意思を尊重していきます。 ・利用者に事業所一覧を提示する等、複数の選択肢があることを説明します。 ・年1回以上の利用者アンケートの実施を行います。 	<p>法令遵守を徹底し、サービスの質の向上に努めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、基本ルール・個人情報の取り扱いの注意喚起を実施します。 ・チェックリスト(別紙)を用いて定期的に自己点検を実施します。 ・個人情報の重要性を認識し適切な取得、利用、提供、管理します。 ・予め予測できる危険については積極的に対処していきます。 ・事件・事故等が発生した場合、迅速な報告、適切な対応に努めます。 ・日常的に衛生管理・感染症対策を図っていきます。
実績	<p>利用者、住民、地域団体、事業者等に対して公正中立な立場で対応しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の対応状況把握や指導に努めました。 ・利用者本人、家族の意向・意思を尊重した対応をしました。 ・事業所の選択に係る相談対応を適切に実施しました。 ・利用者アンケートの実施と振り返りを行いました。 	<p>法令遵守を徹底し、サービスの質の向上に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎朝、基本ルール・個人情報の取り扱いの注意喚起を実施しました。 ・チェックリストによる定期的な自己点検を実施しました。 ・会議等でコンプライアンスの確認・点検を実施しました。 ・ヒヤリハット・事故防止の委員会を毎月実施しました。 ・出勤前の健康チェックにより感染症対策に努めました。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	ケアマネジャーが介護予防の視点を常に持ち、適切なアセスメントや自立支援に資するケアプランの作成ができるように、多職種と連携し、地域資源の開発や情報整理・発信を行っていきます。	利用者の心身の状況、生活環境に応じてご本人が自立した生活が送れるよう、各関係機関と連携を図りながら、適切な計画を作成する。また月4回の会議を実施したり、他事業所と事例検討会を行い処遇困難ケースについての方針を話し合ったり、各ケースの問題点を検討し、質の高いサービスを提供していきます。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額
	【その他料金】	【その他料金】 通常の事業の実施地域を越えた所から公共交通機関を利用した実費を徴収する。通常の事業の実施地域を越えた所から、片道分20キロメートルあたり500円交通費
職員体制	社会福祉士(管理者):1名(兼務) 保健師:1名(専従)	主任介護支援専門員(管理者):1名(兼務) 主任介護支援専門員:1名(専従) 介護支援専門員:1名(専従)<1名増員予定>
契約者数	介護予防支援 支援1(直0名 委託16名) 支援2(直0名 委託70名) 合計 86名 介護予防ケアマネジメント 支援1(直0名 委託15名) 支援2(直1名 委託49名) 合計 65名	要介護1 12名 要介護2 11名 要介護3 3名 要介護4 3名 要介護5 2名

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	介護支援専門員や他事業所と綿密な連携をとり、ご利用者様が自立・安定した生活が送れるよう、状態を把握し、身体状況の維持・向上を図ります。個別機能訓練(通所介護対象)では、ご希望者対象にご本人様・ご家族様の要望に沿った目標・プログラムを作成し個別メニューで実施します。		
実施体制	【実施日数】 週7日 【提供時間】 9:00~16:30 【定員】 35名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
	【その他料金】 ・食費負担 800円(おやつ代100円を含む) ・通常の事業の実施地域を超えた所から片道10kmごと800円 ・紙オムツ1枚80円・紙パンツ1枚100円・パッド1枚20円 ・教養娯楽費 実費 ・当日キャンセル 昼食代相当額100% ・前日の17:00までのキャンセル 昼食代相当50%	【その他料金】	【その他料金】
職員体制	管理者 1名 生活相談員(介護職員兼務) 4名 看護師 5名 介護職員 9名 運転手 0名 栄養士 1名 調理員 4名 事務員 1名		
契約者数等	【延べ利用者数】 7865名 【契約者数】 88名	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和5年度「横浜市岩崎地域ケアプラザ」
収支報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,453,198	150,200	18,603,398	16,611,305	1,992,093	横浜市より 差引額は横浜市へ戻入
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	34,080	△ 34,080	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	23,809	△ 23,809	
その他	0	0	0	10,271	△ 10,271	
その他	3,709,275	0	3,709,275	3,709,275	0	施設利用料相当額控除、光熱水費控除
収入合計	22,162,473	150,200	22,312,673	20,354,660	1,958,013	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,322,473	0	12,322,473	5,777,950	6,544,523	
本俸	8,390,773	0	8,390,773	3,935,442	4,455,331	職員基本給及び契約職員賃金
社会保険料	887,200	0	887,200	657,574	229,626	
手当計	2,846,500	0	2,846,500	1,072,516	1,773,984	職員基及び契約職員各諸手当、賞与
健康診断費	56,000	0	56,000	41,838	14,162	
勤労者福祉共済掛金	31,000	0	31,000	11,950	19,050	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	111,000	0	111,000	53,067	57,933	
その他	0	0	0	5,563	△ 5,563	
事務費	1,637,000	0	1,637,000	1,081,480	555,520	
旅費	30,000	0	30,000	1,548	28,452	外出時駐車場代・公共交通機関運賃
消耗品費	180,000	0	180,000	174,535	5,465	感染症予防物品・事務用品・衛生用品
会議ठीい費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	150,000	0	150,000	116,290	33,710	コピーカウント料・封筒、名刺印刷代
通信費	300,000	0	300,000	297,726	2,274	固定、携帯、FAX通話料・切手、郵便、宅急便、インターネット接続料
使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	0	21,120	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120	0	21,120	0	21,120	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	0	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	30,000	0	30,000	2,600	27,400	研修参加費、参加時旅費
振込手数料	50,000	0	50,000	12,840	37,160	銀行振込手数料
リース料	30,000	0	30,000	26,430	3,570	館内モップ・マット等
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	845,880	0	845,880	449,511	396,369	各種団体諸会費・求人広告費・ガソリン代・車両点検代
事業費	400,000	0	400,000	21,817	378,183	
運営協議会経費	0	0	0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	400,000	0	400,000	21,817	378,183	
その他	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
管理費	7,329,000	0	7,329,000	5,799,948	1,529,052	
光熱水費	5,830,000	0	5,830,000	3,992,668	1,837,332	電気・都市ガス・上下水道代
清掃費	747,000	0	747,000	830,539	△ 83,539	館内清掃業務・環境衛生業務
機械警備費	116,000	0	116,000	115,043	957	機械警備
設備保全費	636,000	0	636,000	861,698	△ 225,698	
空調衛生設備保守	300,000	0	300,000	276,412	23,588	空調機器設備保守
消防設備保守	46,000	0	46,000	45,745	255	法定点検業務
電気設備保守	78,000	0	78,000	70,905	7,095	電気工作物保安業務
害虫駆除清掃保守	20,000	0	20,000	19,466	534	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	192,000	0	192,000	449,170	△ 257,170	設備総合巡視点検・エレベーター保守・自動ドア保守
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
修繕費	474,000	0	474,000	624,200	△ 150,200	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	22,162,473	0	22,162,473	13,305,395	8,857,078	
差引	0	150,200	150,200	7,049,265	△ 6,899,065	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	400,000	0	400,000	21,817	378,183	
自主事業 収支	△ 400,000	0	△ 400,000	△ 21,817	△ 378,183	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	23,809	△ 23,809	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,120	0	△ 21,120	23,809	△ 44,929	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「横浜市岩崎地域ケアプラザ」
収支報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	41,348,349	0	41,348,349	30,519,441	10,828,908	横浜市より 差引額は横浜市へ戻入
指定管理料【介護予防】	154,000	0	154,000	154,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,864,005	0	5,864,005	5,864,005	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	8,658	△ 8,658	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	6,329	△ 6,329	
その他	0	0	0	2,329	△ 2,329	
収入合計	47,366,354	0	47,366,354	36,546,104	10,820,250	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	42,064,354	0	42,064,354	19,437,958	22,626,396	
本俸	23,498,354	0	23,498,354	10,620,210	12,878,144	
社会保険料	5,847,000	0	5,847,000	2,589,241	3,257,759	
手当計	11,862,000	0	11,862,000	5,832,938	6,029,062	
健康診断費	90,000	0	90,000	39,264	50,736	
勤労者福祉共済掛金	52,000	0	52,000	24,600	27,400	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	715,000	0	715,000	315,018	399,982	
その他	0	0	0	16,687	△ 16,687	
事務費	1,715,000	0	1,715,000	2,201,511	△ 486,511	
旅費	35,000	0	35,000	26,928	8,072	外出時駐車場代・公共交通機関運賃
消耗品費	12,000	0	12,000	119,268	△ 107,268	感染症予防物品・事務用品・衛生用品
会議賄い費	0	0	0	0	0	
印刷製本費	48,000	0	48,000	66,270	△ 18,270	コピーカウント料・封筒、名刺印刷代
通信費	314,000	0	314,000	356,119	△ 42,119	固定、携帯、FAX通話料・切手、郵便、宅急
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	0	
図書購入費	0	0	0	0	0	
施設賠償責任保険	0	0	0	0	0	
職員等研修費	10,000	0	10,000	13,090	△ 3,090	研修参加費、参加時旅費
振込手数料	58,000	0	58,000	37,754	20,246	銀行振込手数料
リース料	7,000	0	7,000	7,030	△ 30	館内モップ・マット等
手数料	0	0	0	0	0	
地域協力費	0	0	0	0	0	
その他	1,231,000	0	1,231,000	1,575,052	△ 344,052	施設維持管理外契約、各種団体諸会費・求
事業費	1,264,000	0	1,264,000	260,605	1,003,395	
協力医	630,000	0	630,000	63,000	567,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	240,000	0	240,000	27,985	212,015	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	154,000	0	154,000	152,443	1,557	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	240,000	0	240,000	17,177	222,823	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
管理費	2,197,000	0	2,197,000	1,541,752	655,248	
光熱水費	1,791,000	0	1,791,000	1,061,342	729,658	電気・都市ガス・上下水道代
清掃費	200,000	0	200,000	220,776	△ 20,776	館内清掃業務・環境衛生業務
機械警備費	31,000	0	31,000	30,580	420	機械警備
設備保全費	175,000	0	175,000	229,054	△ 54,054	
空調衛生設備保守	75,000	0	75,000	73,476	1,524	空調機器設備保守
消防設備保守	13,000	0	13,000	12,159	841	法定点検業務
電気設備保守	21,000	0	21,000	18,847	2,153	電気工作物保安業務
害虫駆除清掃保守	6,000	0	6,000	5,174	826	
駐車場設備保全費	0	0	0	0	0	
その他保全費	60,000	0	60,000	119,398	△ 59,398	設備総合巡視点検・エレベーター保守・自動ドア保守
共益費	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
修繕費	126,000	0	126,000	126,000	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	
印紙税	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	47,366,354	0	47,366,354	23,567,826	23,798,528	
差引	0	0	0	12,978,278	△ 12,978,278	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0	
自主事業費 支出	634,000	0	634,000	197,605	436,395	
自主事業 収支	△ 634,000	0	△ 634,000	△ 197,605	△ 436,395	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	6,329	△ 6,329	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	6,329	△ 6,329	

※各大大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市岩崎地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護・第1号通所介護								
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	2,211	1,230	22,206	22,206	6,058	16,148	84,934	77,083	7,851			0			0
	その他	0	42	-42	569	131	438	6,897	6,872	25	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	6,897	6,292	605			0			0
	認定調査委託料	0	0	0	569	89	480	0	0	0			0			0
	物価高騰対策支援補助	0	42	-42	0	42	-42	0	462	-462			0			0
				0			0			0			0			0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	118	-118			0			0
	収入合計(A)	2,211	1,272	939	22,775	6,189	16,586	91,831	83,955	7,876	0	0	0	0	0	0
支出	人件費	1,299	1,002	297	20,314	11,505	8,809	68,381	67,712	669			0			0
	事務費	100	542	-442	986	1,068	-82	4,077	3,527	550			0			0
	事業費	100	0	100	0	0	0	5,150	7,335	-2,185			0			0
	管理費	370	421	-51	1,475	1,285	190	8,933	7,779	1,154			0			0
	その他	0	0	0	0	29	-29	5,290	5,300	-10	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			0
	消費税	0	0	0	0	19	-19	0	0	0			0			0
	介護予防プラン委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			0
	積立金	0	0	0	0	0	0	790	790	0			0			0
	繰入金	0	0	0	0	0	0	4,500	4,500	0			0			0
	支払利息	0	0	0	0	10	-10	0	10	-10			0			0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0			0	
	支出合計(B)	1,869	1,965	-96	22,775	13,887	8,888	91,831	91,653	178	0	0	0	0	0	0
	収支 (A)-(B)	342	-693	1,035	0	-7,698	7,698	0	-7,698	7,698	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和5年度 自主事業報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	くらしの相談会【もくようびのすまいる】	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	法律の部分から地域の困りごとに対応し、個別課題等の解決につなげる。	5:地域		ケアプラザ内事業の際に相談ブースを設け、遺言、相続、登記、後見などに関する困りごとや疑問を司法書士会、コスモス成年後見サポートセンターより相談員を派遣いただき、相談会を実施する。 ・年6回。奇数月の第3木曜日(5月、9月、11月 行政書士)(7月、11月、3月 司法書士)	6	7
2	エンディングノートを書いてみよう【もくようびのすまいる】	令和5年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	エンディングノートの普及啓発	5:地域		行政書士を招いて、エンディングノートを書く際のアドバイスと遺言に関するミニ講座を実施。質問があればその都度お受けし、実際に参加された方にエンディングノートを作成してもらう。5/18	1	10
3	多職種連携会議全体会	平成26年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域の医療関係者(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、相談員等)、地域の介護事業所(居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、訪問看護事業所、通所介護事業所等)多職種の方々との連携強化を図る。	6:事業者		災害時における対策を多職種間で深め、地域で展開していく。 ・年1回 11月15日多職種連携会議全体会(78人)	1	99
4	岩崎地域ケアプラザ民生委員ケアマネ連絡会	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	委託先のケアマネジャーと、民生委員が日頃お互いが困っていること等について意見交換、連携強化を図る。	6:事業者		担当エリア内の民生委員、ケアマネジャーに参加いただき、地域の理解と介護保険業務の内容を共有し、どのような連携が出来るのか検討していく。	0	0
5	もくようびのすまいる	令和2年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	居場所づくり、福祉・地域情報の発信、介護者支援等を総合的に行う。	5:地域		地域情報の展示、講座、福祉用具の展示、相談会、健康チェック、趣味活動等毎回内容を変えながら実施。 6年6回開催予定(奇数月 第3木曜日11:00~15:00) 実施日:5/18、7/20、9/21、11/16、1/18、3/21	6	0
6	権利擁護相談会	平成29年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・権利擁護に関する普及啓発と生活課題の早期発見と課題解決。	1:高齢者		司法書士・行政書士による出張相談、相談会。随時	3	5
7	認知症交流会	令和5年度	7:共催(1と2と3)	2:発展させるねらい	認知症理解の普及・啓発及び見守りネットワークの構築をおこなう。	5:地域		認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを行うための意見交換と事業検討など。年10回程度 ・4/10(1名)・5/15(2名)・6/15(2名) ・9/11(3名)・10/16(3名)・11/13(2名) ・12/11(2名)・1/15(2名)	8	17
8	認知症サポーター養成講座	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	認知症理解の普及・啓発	5:地域		キャラバン・メイトと共に認知症サポーター養成講座の実施。年2回程度 ・6/20コト初音ヶ丘(18名) ・9/26地域住民等(8名)	2	26
9	区内合同認知症サポーター養成講座	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	区域の事業所を対象に講座を実施することで、認知症の人とその家族が暮らしやすいまちづくりを推進する。	6:事業者		認知症部会を通じ、区域事業として認知症サポーター養成講座を開催する。随時	0	0
10	健康教育	令和4年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	・フレイルについての知識を深め、社会参加の機会と合わせて介護予防について学ぶ。 ・手軽にできるようなプログラムを組み、セルフケアにつながるようにする。	1:高齢者		感染予防対策を取ったうえで、フレイル予防のためのロコモ予防、口腔・嚥下機能向上、栄養状態改善をねらいとした教室を開催する。 5/18健康測定(8名) 7/20健康教室(運動編)12名 9/21健康教室(オーラルフレイル編)4名 11/16健康教室(栄養編)3名 2/14いきいき健康教室(運動編)22名 2/20いきいき健康教室(口腔編)18名 2/29いきいき健康教室(栄養編)28名	7	95
11	介護予防出張教室	令和4年度	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	・介護予防についての知識を深め、また社会参加の機会ができることでいっそうの健康増進や認知症予防につながることを学ぶ。 ・手軽にできるようなプログラムを組み、セルフケアにつながるようにする。	1:高齢者		感染予防対策を取ったうえで、介護予防のためのロコモ予防、口腔・嚥下機能向上、栄養状態改善、認知症予防をねらいとした教室を開催する。	0	0
12	地域自主活動グループ活動支援	令和3年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	地域活動グループの活動支援。活動のモチベーション維持・向上を図る。	1:高齢者		現在活動している、地域活動グループの実態を把握する。活動グループに対してモチベーションの維持及び活動力アップにつながる体力測定や健康講座等を実施。年2~3回程度 4/27Gスマイル(6名) 7/28さくら会体力測定(13名) 11/12さくら会健康講座(17名) 12/10さくら会健康講座(13名) 3/11第1桜寿会(26名)	5	75

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
13	出張講座	平成18年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	介護予防、介護保険制度、権利擁護の普及・啓発、ケアプラザの機能についての周知等	5:地域		・地域住民対象 ・会場 各自治会町内会館等 *自治会、町内会、老人クラブ、各種団体等を対象に地域のニーズに応じた講座を実施 6/12 岩美会(12名) 2/15桜ヶ丘自治会健康講座(22名) 3/9東部地区社協健康講座(39名)	3	73
14	こどもランド	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	親子の居場所作り 参加者同士(親と子)の交流の場を提供	3:養育者及び乳幼児		・未就園児の子と保護者対象 ・年22回程度。毎月第1月・第3土曜日10～14時 *内容によって区地域子育て支援拠点こっころ等と共催にて実施	20	30
15	幼稚園ママに聞いちゃおう	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	これから入園を予定している子をもつママが先輩ママにお話を聞き、育児に対する不安解消やネットワークづくりを目的とする。	5:地域		幼稚園に入園を予定している親対象。 年1～2回実施。	0	0
17	ほどがや区民まつりの参加	平成20年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	区民が多数来場する「区民まつり」に区内全てのケアプラザの担当職員が参加することで、顔の見える関係づくりを図る。そして、ケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解していただき今後の福祉保健活動へとつなげる。	5:地域		福祉保健センター1区分を使用し、ケアプラザの周知を行う。	1	450
18	プラザまつり	平成26年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	子どもから高齢者まですべての年代の方を対象としたお祭りを実施することで、地域の方々にケアプラザの周知をし、地域住民との顔の見える関係作りを構築することを目的とする。	5:地域		・地域住民対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ ・年1回程度実施予定	0	0
19	福祉教育授業の参加	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	福祉教育を進めていく中で学齢児から地域福祉の事に関心をもってもらい将来の担い手育成へ繋げていくきっかけ作り	4:子ども・青少年		・区内在学の小中学生対象 ・会場 各小中学校 *地域ケアプラザの機能について・地域福祉について・高齢者疑似体験等学年、世代によってテーマを変えた内容を実施する。	0	0
20	ちくちくサロン	平成28年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	裁縫を通じた誰でも気軽に集まれる場のきっかけ作りおよび社会貢献(社会参加)	1:高齢者		・地域住民対象 ・会場 岩崎地域ケアプラザ ボランティアルーム ・年10回。毎月第3水曜日12～15時 オープンサロン形式にて実施 *年2～3回程度 地域の福祉施設への寄贈及び施設見学を実施	0	0
21	認知症について学ぼう【もくようびのすまいる】	令和5年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	認知症に対する理解と予防	5:地域		認知症の症状と予防について、話し合いながら理解を深めていく。 5/18実施	1	3
22	福祉用具体験会【もくようびのすまいる】	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	介護保険サービスの理解	1:高齢者		・介護保険のサービスの中で、利用することで介護予防にもつながるものとして、杖や歩行器手すりなどを展示。 ・年1回程度 7/20実施	1	7
23	「連絡ノート」について【もくようびのすまいる】	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	自分らしく最後まで生きるための、医療面から意思決定支援の促進	5:地域		保土谷区在宅医療相談室を置き、意思決定の大切さを伝える映画上映と実際の書き方支援 ・年1回 7/20実施	1	2
24	消費者被害について【もくようびのすまいる】	令和5年度	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	消費者被害への注意喚起	5:地域		神奈川県消費生活課消費生活出前講座を活用し、アドバイザーを招き、事例を交えた講座の実施 ・年1回程度 9/21実施	1	3
25	ほっとフレンズ2023夏 ヨコハマエアキャビンに乗りよう！ カップヌードルミュージアムに行こう！ 及びボランティア研修	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	・障害児に「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供する。 ・障害に理解ある地域のボランティアや学生ボランティアの育成を図る。 ・関係諸学校及び団体との協力関係を深め、障害児の支援における地域ネットワークの形成に努める。 ・本事業の周知、報告及び地域のボランティア募集等を通じて、地域の方々の障害福祉に対する理解をより深めていただく機会とする。	2:障害児・者		横浜探検という目的で、親子で参加者を募り、区内コーディネーターと関係機関及びボランティアが参加者と一緒にになりグループを組んでヨコハマエアキャビンへ搭乗し、カップヌードルミュージアムでマイカップヌードルの作成体験を行う外出企画を7月30日に開催した。 事前にボランティア研修として、川島地域ケアプラザで6月19日に行った。	2	16
26	介護者のつらい【もくようびのすまいる】	平成18年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	介護者支援、虐待防止、介護負担の軽減を図る。	5:地域		ピアカウンセリングを中心に話ができる場の提供を行う。	1	2

■ 事業

- 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業
 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3）
 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）

■ 事業の性質

- 1：優先的に取り組みが求められる事業
 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業

■ 主な対象者、従たる対象者

- 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児
 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者
 7：その他

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
27	ほっとフレンズ春2023	H21	1：地域活動交流事業	1：優先的に取り組み	学校と家庭の往復になりがちな障がい児に、「新たな出会いの場」「生活経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる活動の場」を提供します。	2：障害児・者	4, 5	ほっとフレンズ実行委員会での共同開催。区内に在住・在学のハンディのある小学生～高校生の子と保護者を対象に和太鼓体験、玉ねぎ染め体験	1	12
28	高齢者の上手な住まいの探し方【もくようびのすまいる】	令和5年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	介護者支援の1つとして、また独居の方の増加に伴い、高齢者の住まいの情報を発信する。	1：高齢者	5	高齢者施設・住まいの相談センターに講師を依頼し、特別養護老人ホームをはじめとする高齢者施設の現状と入所に関する情報を提供する。 1/18実施	1	5
29	おむつ・パットの無料配布【もくようびのすまいる】	令和5年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	介護者支援の1つとして、また寄付いただいたおむつ・パット類を効率的にお渡しすることでケアブラザとつながりのない住民の把握や困りごとを話せる場所を提案する。	5：地域	1	お1人1パックのおむつ、ないしパットを無料でお渡しする。また、必要な方におむつやパットの大きさの違いなどをみてもらい、用途や状態による使用の違いを説明する。 3/21実施	1	10
30	体験フラダンス【もくようびのすまいる】	令和5年度	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	趣味活動を通しての健康維持、介護予防、生きがいづくり。居場所づくり。他者との交流を図る場を設ける。	5：地域		もくようびのすまいるのなかで講師とフラダンス教室の受講生を招き、体験的なフラダンス教室を行う。また講師らによるフラダンスの鑑賞も楽しむ。 3/21実施	1	13